

けんころ

岐阜県立岐阜病院

- 平成17年10月1日発行
- 平成17年度 秋号
- ホームページアドレス
http://www.pref.gifu.jp/gifu_hospital/index.html
- 発行責任者 清水 勝
- 編集 県立岐阜病院広報委員会

県立岐阜病院の理念

県民に信頼され、患者様の立場に立ったより良い医療を提供するために

1. Humanity (ヒューマニティ) に基づいた医療
2. EBM (Evidence Based Medicine・科学的根拠に基づいた医療) の実践
3. 効率的な病院運営に努めます

患者様の権利

1. 差別されることなく、平等に良質な医療を受ける権利
2. 十分な説明の下に自身の医療を決定する権利
3. 個人のプライバシーを守られる権利



原 正之 副知事



棚橋 普 副知事



古田 肇 県知事

モデルルーム内訳

- ①個室的多床室 (4人病室)
 - ・すべてのベッドに窓があり、ゆとりに配慮した4人病室。
 - ・しきりの工夫により、プライバシーの保護とともに、災害時には6人病室として活用できるよう設計した病室。
- ②重症者個室・個室



杉江 勉 出納長

県立岐阜病院では、来年秋に完成する新病院の「病室のモデルルーム」を、平成17年6月に工事現場仮設事務所内に設置しました。

実物大のモデルルームには実際に使用するベッドなどを置き、医師や看護師など医療スタッフにより、患者様のベッドサイド環境及び医療行為等業務環境を検証するとともに、県民の皆様にも新病院の病室を実物大でご覧いただきました。

一般公開は7月19日から8月12日までご覧いただき、この期間中には古田知事、原副知事、棚橋副知事、杉江出納長がモデルルームを視察されました。

今後、検証結果に基づき患者様と医療スタッフともに使いやすく快適な実際の病室作りに役立ててまいります。

新病院モデルルーム一般公開

○新病院「病室のモデルルーム」の一般公開について

県民健康セミナーを開催しました。9/17日(土)

～高齢者医療 高齢化社会をより良く生きるために～



(写真1) 清水勝院長講演

県立岐阜病院では、平成15年度から一般県民を対象に、関心の高い疾患などをテーマに「県民健康セミナー」を開催し、今回で4回目のセミナーを開催しました。

今年は、9月19日の敬老の日になんで「高齢者医療」をテーマとして開催し、会場には一般県民328名のご参加いただき、熱心な聴講をいただきました。

講演会では清水勝院長(写真1)が、平均寿命の長さより、健康でより良く生きる健康寿命の延長の重要性について述べたほか、各担当部長などから

高齢化社会の諸問題の現状と予防策について説明がありました。

また、リハビリチームによる転倒予防体操の実演(写真2)も行われ、会場を埋めた参加者は手足を動かしながら、日ごろの予防の大切さを実感していました。

なお、GIB岐阜県インターネット放送局に9月17日(土)「県民健康セミナー」開催の様子が取り上げられました。映像としてご覧いただけますのでホームページアドレスをクリックしてご覧ください。

http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/gib/3_news/0509/3189.htm



(写真2) 転倒予防体操

県立岐阜病院
岐阜県立岐阜病院
「高齢者医療～高齢化社会をより良く生きるために～」

9月17日(土) 13:00～16:00

講演者 清水 勝	講演者 杉江 勉
講演者 棚橋 普	講演者 古田 肇
講演者 原 正之	講演者 杉江 勉
講演者 杉江 勉	講演者 杉江 勉

〒500-8702 岐阜県岐阜市南大町1-1-1
TEL: 057-233-3000 FAX: 057-233-3001
E-MAIL: info@pref.gifu.lg.jp

新病院に導入されるがん診療装置について

当院における重点医療のひとつとして「がんの治療」が掲げられており、平成17年1月には地域がん診療拠点病院に指定されました。さらに現在建設中の新病院では新たながん診療機器が導入される予定です。この機器についてご紹介します。

(1) PET-CT (イメージ図参照)

がん治療の最大の決め手は早期発見にあることは言うまでもありません。PET (ペット) とはポジトロンと呼ばれる陽電子を放出する薬剤をブドウ糖に結合させて体内に取り入れ、糖代謝の盛んな腫瘍組織に取り込まれた薬剤から出された信号を専用の装置で撮影するものです。この画像とCT画像を組み合わせてものがPET-CTです。これによって小さながんの発見が格段の精密さで行え、しかも各臓器ごとの検査ではなく一度に全身の検査ができる最先端の画像診断装置として注目されています。(図1)

(2) 放射線治療装置 (イメージ図参照)

わが国では人口の高齢化に伴い、今後高齢者を中心とした悪性腫瘍の患者数が増えることが予想されています。高齢者のがん治療においては手術や抗がん剤などの治療に比べてより簡便に行えて体への負担が少ない放射線治療が行われることが多く、今後10年間で放射線治療の患者数は2倍になる見込みです。最近では病巣部と周辺正常組織の位置関係を3次元画像として把握し、正常組織を避けて病巣部により選択的に放射線を投与し、治療効果を高め副作用を軽減できる3次元体照射が普及しつつあります。患者様にとってより優しい治療と言えるでしょう。

新機種の導入に伴い当院での治療も全てこの方式で行うこととなります。また一方、病巣に対してあらゆる角度からピンポイントに大線量を集中させてこれまでに実現しなかった高い局所制御率を上げる技術が開発され、すでに脳腫瘍や頭頸部腫瘍に対してラジオセラ

ジャリーとして行われています。今後はPET-CTなどによって早期発見された肺がんなどの体幹部腫瘍に対して、このピンポイント照射が手術にとって替わる新しい治療手段として行われるようになるでしょう。(図2) 体の厳密な固定や、腫瘍の呼吸性移動にどう対応するかなどの問題はいまだに工夫の余地があり、各病院独自の技術的ノウハウの確立が必要です。しかしすでにこの治療法は、平成16年4月に体幹部の高精度外部放射線治療として早々に保険適用になりました。

新病院でのがん診療においては、これらの先進的な医療機器を十分に活用して、地域がん診療拠点病院として質の高い診療が行えるように努めたいと思います。

(放射線科部長 柳川繁雄)

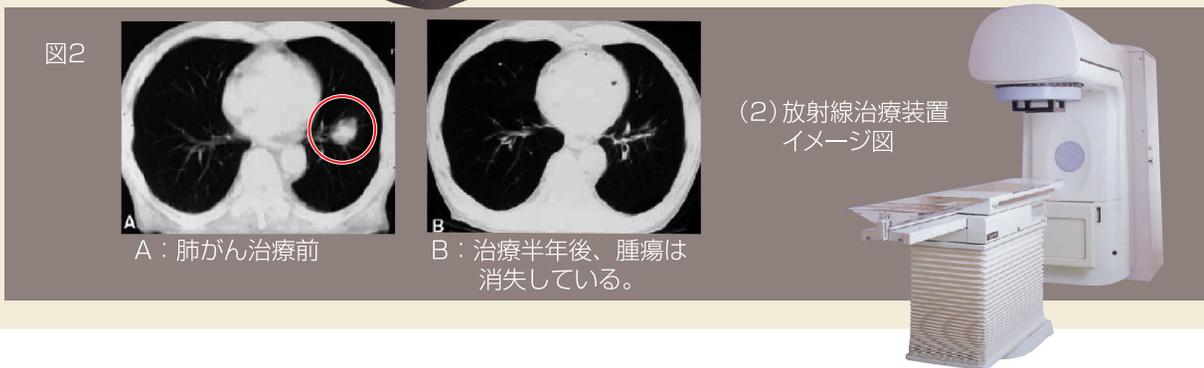


放射線科
金子 揚 医師
中央放射線部 白田繁夫技術主査
中央放射線部 三宅 浩 部長
放射線科 柳川繁雄部長
中央放射線部 伊藤和昭技術主査
中央放射線部 近藤紀博技師長
中央放射線部 高橋典子技術課長補佐
看護部 看護師 梅田 康子
看護部 看護師 奥村昌子



図1 PET-CT (肺がん骨転移)

(1) PET-CTイメージ図



(2) 放射線治療装置イメージ図

A: 肺がん治療前

B: 治療半年後、腫瘍は消失している。

放射線科 中央放射線部

提案箱 意見箱



県立岐阜病院では、皆様方のご意見、ご提言を参考により良い病院運営に努めてまいります。

ご意見

7時50分に診察券を入れたが処方箋の書類は9時半であった。スムーズな事務の流れを望みます。

回答

受付への診察券は早速診療科へ届けていますが、件数が多い場合には待ち時間が多くなります。今後患者様をお待たせしないスムーズな処理を心がけていきます。

ご提案

多くの病院がカードで支払いが出来ます。この病院でもカード支払いが出来れば大変助かります。

回答

ご不便をおかけします。現在の財務規則上カード払いは出来ないこととなっております。ご理解願います。

ご提案

病院内に両替機を置いてほしい。

回答

病院では現金を取り扱っていないため設置は困難です。地下の売店で両替をお願いします。なお、売店までの移動が困難な方は3階管理課までお申し出下さい。

しあいのちしき 胃薬・いろいろ



主治医の先生や薬局で服用中のお薬について、「これは胃薬です。」と説明を受けたことがあると思いますが、胃薬にもいろいろな種類があることをご存知でしたか？

今回は、「胃薬・いろいろ」と題してその種類や作用の違いについてお話ししたいと思います。

● 胃のはたらき

「胃」は、食物を一時的にたくわえ、胃酸を分泌し栄養として吸収しやすい粥状に食物を消化します。その後、それを蠕動運動によって十二指腸に送っています。胃自体は、胃酸に消化されないように自らを守るために粘液を分泌しています。胃の不具合は、何らかの原因で胃酸分泌と粘液分泌のバランスが乱れたり、蠕動運動がおかしくなると生じてきます。

● 薬の種類とはたらき

一般的に胃薬は、胃の具合が悪いときや他の薬で胃が荒れるのを防ぐために使われます。

大きく分類すると、次のように分かります。

- ・健胃消化薬：胃の働きを活発にし、消化液の分泌を良くすることで、消化不良や食欲不振、胃部不快感や胃もたれ等の症状を改善する薬
- ・制酸剤：分泌された胃酸を中和して胃粘膜を保護する薬
- ・胃酸分泌抑制薬：胃酸が分泌されるのを抑える薬
主にエイチツーH₂ブロッカーとプロトンポンプ・インヒビターがあります。プロトンポンプ・インヒビターは、H₂ブロッカーに比べより強力に胃酸の分泌を抑える働きがあります。
- ・胃粘膜保護剤：潰瘍部分に薬が付着してその部分を保護または修復したり、胃を保護する粘膜を強くする作用の薬

安心して子どもを育てられる医療を



平成17年8月1日から県立岐阜病院内に、県内全域を対象に休日・夜間に電話での相談を受け付ける窓口「小児救急電話相談」を新設しました。

休日や夜間など、かかりつけの医療機関が休診の場合に、子どもの具合がおかしいと感じたときなど、お電話ください。専任の看護師が体の様子をお聞きし、どのように対処したらよいかお答えします。

小児救急電話相談 (県立岐阜病院内)

電話 #8000 (プッシュ回線のみ) または 058-240-4199

受付時間

- 月曜日～土曜日 午後7時～午後11時
- 休日・年末年始 午前9時～午後11時



看護部からのお知らせ

妊婦保健指導室へようこそ

産婦人科病棟



午後からは、「母乳相談室」を行っています。母乳が少ないことや乳腺炎などのトラブルに対して、乳房マッサージを行なっています。母乳は、免疫など赤ちゃんの健康や栄養だけでなく、お母さんと肌と肌の触れ合いを通じて赤ちゃんの安心感につながります。また、産後のダイエットやがんに対する予防（子宮頸癌・乳癌・卵巣癌など）などにも効果的です。このように母乳はお母さんや赤ちゃんの将来にわたって心身の健康に大切な役割をはたします。お母さんの持っている自然の力が最大限発揮できるようお手伝いします。

○母乳相談室

「妊婦保健指導室」は、妊婦健診受診後に外来で助産師が妊娠初期から後期までに、計4回にわたり妊娠や出産・母乳などの相談を行なっています。その中で多い相談は体重増加です。過剰な体重増加は妊娠高血圧症候群の発症や産道に脂肪がつくことなど妊娠・出産において母児とも大変です。妊娠は病気ではありませんが体に変調が起りやすいため、健康的な妊娠生活を送れるようアドバイスさせていただきます。

○安産教室

妊娠後期に、陣痛時の過ごし方・入院方法の説明や病棟見学・分娩台体験を行います。ご主人の参加や、妊婦さんたちの会話でがんばろうという気持ちになります。妊婦保健指導室は、元気なお母さんと赤ちゃんのために活動していますのでよろしく願います。



相談の様子

今回は低カロリーで食物繊維たっぷりの副菜を紹介します。

きのこの梅肉和え

材料(2人分)

1人分エネルギー 25Kcal 塩分1.3g 食物繊維4.1g

材料(2人分) きのこ(しめじ類・えのきたけ・生しいたけ・エリンギなど) 200g
塩 少量 酒 大さじ1杯 青じそ 2枚
梅肉たれ(梅肉 梅干し小2個分 きのこの蒸し汁 しょうゆ 少量)

作り方

- きのこは種類により、小房に分けたり裂いたりして、食べやすい大きさにする。
- 耐熱皿に①を入れて塩と酒をふり、ラップをして電子レンジ(600w)で3分加熱する。
- 青じそは細かく切る。
- 梅肉は②の蒸し汁でのばし、しょうゆを加えて混ぜる。
- ②のきのここと③の青じそを④の梅肉だれであえる。



写真は1人分

災害対策訓練実施概要

地震等の災害発生時に即応できる医療体制の確保のため、多数の負傷者が発生した場合を想定して、より現実に即した訓練を実施しました。

- 訓練時間 平成17年8月20日(土) 午後2時から3時30分まで
- 参加人員 328名
内訳 病院職員153名、県立衛生専門学校教員・学生等150名、訓練協力1名(ヘルスケミカル)、院内見学者20名、院外見学者4名
- 今回の訓練の特長
 - (1) 多数傷病者の対応訓練
 - (2) 現場指揮所での情報一元管理
 - (3) 応急救護所における2次トリアージの実施
 - (4) 岐阜市消防本部からの重症患者の搬送
 - (5) 災害用オーダー伝票の作成・使用
 - (6) 消防訓練における外来患者80名(衛生専門学校学生)の火災避難訓練の実施
 - (7) ISO14001対応として、環境影響被害項目の対応訓練実施



編集後記

万博(愛地球博)が終わりました。隣の愛知県でいつでも行けると思っていたら暑い中でも連日大入りでした。主催者の配慮により暑さを和らげる工夫があり、自然の多い環境に配慮した万博でした。
県立岐阜病院の最寄りには、緑いっぱいの公園や八幡山など自然がたくさんあります。空いた時間に散策などができそうです。
より良い紙面を作るため皆様のご意見をお寄せ下さい。お待ちしております。

岐阜県立岐阜病院 広報委員会

〒500-8717 岐阜市野一色4丁目6番1号

TEL.058-246-1111 FAX.058-248-3805

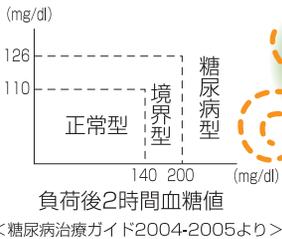
Eメールアドレス c22601@pref.gifu.lg.jp

ホームページアドレス http://www.pref.gifu.jp/gifu_hospital/index.html

栄養管理係です

第16回

「まだ糖尿病ではないと安心していませんか?」
将来、糖尿病になる可能性が高いのが「糖尿病予備軍」です。「まだ糖尿病ではない」といってそのままにしていると、動脈硬化による心筋梗塞や脳梗塞を起こす危険性が高いことがわかっていきます。そのため、予備軍でもきちんと対処することが必要です。



<糖尿病治療ガイド2004-2005より>

- ◎食事のポイント
間食をしない 食物繊維の多いものから食べる 食べすぎない
- ◎運動のポイント
立つ、歩くなどの日常生活の動作を増やす ウォーキングなど軽い運動をする

生活習慣を見直しましょう!



平成17年度全国自治体病院協議会近畿・東海地方会議は、平成17年7月22日に猛暑の中、岐阜市内で開催しました。

全国自治体病院協議会 近畿・東海



岐阜県立岐阜病院は全国自治体病院協議会の支部長病院として会議運営に当たり、近畿東海9府県の自治体病院の院長、事務局長など120名をお迎えし、原正之岐阜県副知事からの歓迎あいさつ、総務省自治財政局地域企業経営企画室病院事業係長、厚生労働省医政局指導課長医療計画推進指導官、岐阜県医師会会長など来賓のごあいさつをいただきました。特別講演として「ヒトは何故がんになるか

人は何故がんを研究するか」と題して岐阜大学学長 黒木登志夫先生によりご専門の「発がん」とがん細胞生物学(がん遺伝子)の講演とともに、基調講演として「自治体病院が直面する課題と対応」く連携と交流として小山田恵会長から経営の健全化、医師不足への対応、医療制度改革など具体的な現状課題についての講演がありました。議事では自治体病院が抱える「市町村合併」、「地域医療

と臨床研修」などの問題について熱心な討議が行われました。
(写真:近畿東海地方会議の様子)



近畿・東海地方会議を開催しました

全国自治体病院協議会岐阜県支部
支部長 県立岐阜病院院長 清水 勝